



▲勇壮な舞いで始良の飛躍を願う（蒲生地区北太鼓おどり保存会）

かごしま

あいら

市議会だより

No.14 9月定例会
平成25年11月30日発行

一般
質問

23
人が市政を問う

12

第3回

議会と語る会
12月7・8日

24

検証

市行政の取り組み

10

決算

認定
447億円

2

認定 歳入 447億1022万円 歳出 425億4618万円



▲全員で呼吸を合わせた組み体操（蒲生小学校運動会）

会計別 決算額

一般 歳入 280億2729万円 歳出 266億285万円
特別 歳入 166億8293万円 歳出 159億4333万円

第3回定例会は、9月6日から10月11日までの36日の会期で開かれました。平成24年度決算のほか、25年度一般会計・特別会計補正予算、条例改正2件、請願4件、陳情3件、議会発議1件、人事案件(人権擁護委員)1件、給食室別棟建設に係る工事請負契約および財産取得を審査しました。陳情1件を不採択として、残りの議案はすべて原案のとおり可決しました。

健全な財政運営を 確認

決算審査は、決算審査特別委員会を設置して、総務・市民福祉・産業文教・建設水道の4班に分かれて、監査員の意見書執行部が提出した成果報告書等に基づき実施しました。

一般会計の実質収支額は13億8995万円の赤字であり、予算の執行状況は、歳入歳出ともに概ね健全な財政運営が行われていることを確認し、併せて財政力指数などの各種指標等との比較結果をもつて、平成24年度決算の歳出総額425億4618万円を認定しました。
 (詳細は4・5ページ)

健全な行財政運営

決算 分析

今後も一層の行財政健全化策を推進



▲市民の安全・安心が第一です（ドクターヘリ）

**13億8995万円
の黒字**

一般会計の歳入歳出差引額は14億2444万6535円です。

翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は13億8995万3千円の黒字決算です。

**財政の弾力性が低下、
経費削減を一層推進**

自由に使えるお金の内、人件費や生活保護費、公債費など避けられない必要な経費の割合（経常収支比率）は90・9%です。前年度比0・2ポイント高くなりました。財政は弾力性が低下、硬直化しており、経常経費削減に努める必要があります。

**実質公債比率は
適正值**

収入に対する負債返済の割合（実質公債比率）が18%以上になると、信用不安が生じ、新たな借入は国や県の許可が必要です。

平成24年度は12・1%で適正值にあります。

**自主財源35・8%の
依存型財政**

自主財源が35・8%、依存財源が64・2%で、依存型の財政です。

基金取崩しや市有地売却等で改善もみられますが、今後も市税等の徴収率向上など、自主財源確保に努めるべきです。

**自主財源に乏しく、
弱い財力**

財政力指数は0・46。指数が1に近いほど、自主財源の割合が高く、財政力は強いと評価されます。

地域間競争に勝ち、民間投資を呼び込むためにも財政力を強化する自助努力が必要になります。

**投資的経費は
総額36億5千万円**

投資的経費は、普通建設事業費34億4600万円、災害復旧費2億4000万円で総額36億5000万円です。

小学校建設など、今後の大型投資のためにも堅実経営が行われました。



黒字決算

市債（借金）残高一覧表

（単位：万円）

区分	平成23年度末残高	平成24年度償還額	平成24年度借入額	平成24年度残高
一般会計	3,389,055	355,742	255,140	3,288,453
北山診療所	1,860	88	0	1,772
簡易水道施設	91,130	5,183	3,220	89,167
農業集落排水	56,108	2,637	0	53,472
地域下水処理	15,572	15,572	0	0
計	3,553,725	379,222	258,360	3,432,864

市債は343億2864万円です。市民一人当たりの借金としてみると、約45万円です。
※各表中の残高は千円では四捨五入し、末尾が異なる場合があります。

市債（借金）は一人当たり約45万円

基金残高一覧表

（単位：万円）

区分	平成23年度末残高	平成24年度中増減高	平成25年3月31日現在高
財政調整基金	311,990	13,250	325,240
減債基金	86,720	△100	86,620
地域づくり推進基金	30,020	△539	29,482
土地開発基金	106,760	50	106,810
その他特定19基金	224,237	19,906	244,142
計	759,727	32,567	792,294

基金は設置数23基金で、残高総額79億2293万円、対前年度3億2566万円の増です。市民一人当たりの預金としてみると、約10万円です。

基金（預金）は一人当たり約10万円

会計別の決算額比較と割合

（単位：万円）

項目	決算		歳出構成比	概要説明
	歳入	歳出		
一般会計	2,802,729	2,660,285	62.5	一般行政全般に係る会計
特別会計	1,668,293	1,594,333	37.5	各事業ごと特別な目的を持つ会計
①国保事業	925,781	866,295	20.4	74歳までの国民健康保険加入者対象の医療保険
②国保施設事業	8,592	8,002	0.2	北山診療所の運営経費
③後期高齢者医療	88,461	86,679	2.0	75歳以上の市民を対象とした医療保険
④介護保険事業	5,76,704	565,588	13.3	介護認定者に対する給付事業
⑤介護保険サービス	7,224	6,891	0.2	介護認定等の事業（予防計画策定等）
⑥簡易水道施設	14,213	13,974	0.3	簡易水道施設の維持管理と借入金償還等
⑦農業集落排水	5,454	5,342	0.1	農村下水道（山田地区）の維持管理と償還等
⑧地域下水処理	21,980	21,731	0.5	加治木町新生町と始良NTの処理施設の運営管理
⑨農林業労働者共済	206	204	0.0	農林業作業中の被災者を救済する共済事業
⑩土地区画整理	19,678	19,627	0.5	帖佐第一土地区画整理事業
合計	4,471,022	4,254,618	100.0	

歳出総額の割合で一般会計62・5%、特別会計37・5%と、前年度より若干特別会計の割合が増えています。

高齢化の進展で医療・介護分野が伸長

特別会計の内訳でみると、国保事業が20・4%（+0.7）、介護保険事業が13・3%（+0.6）となっています。高齢化が進んでいることから医療・介護分野の割合が増えています。

実質公債費比率が12・1%で、国が定める早期健全化基準25・0%を下回るなど、始良市は財政健全化の基準値内にあります。
このため、現状では本市の財政運営状況は健全と言えます。
しかし、自主財源に乏しく、交付税依存体質で、自治体の財政力としては強いとは言えません。さらに今後は税収や交付金の減額など厳しさも予想されることから、一層の財政健全化を推進することが望まれます。
議会では厳しい財政環境の中で、概ね良好な行財政運営がなされていると判断し、採決の結果、賛成27人、反対2人で認定しました。

分析
結果

白男橋の長寿命化修繕

維持工事**2600**万円



▲ 拡幅も含めた議論が交わされた白男橋

質疑 白男橋のどこを修繕するのか。
答弁 橋りょうの長寿命化計画の診断で、白男橋の健全度が非常に低いとの結果が出ており、橋台と橋脚のひび割れ補修、橋面の補修・防水・舗装地覆の改修、高欄の付け

質疑 白男橋のどこを修繕するのか。
答弁 橋りょうの長寿命化計画の診断で、白男橋の健全度が非常に低いとの結果が出ており、橋台と橋脚のひび割れ補修、橋面の補修・防水・舗装地覆の改修、高欄の付け

質疑 橋を挟んで両方の道路は2車線であるが、拡幅も歩道も今回の工事には加わっていないということか。また、将来的に橋の架け替えはないということか。
答弁 拡幅、歩道設置の工事ではありません。現段階での計画では橋りょうの長寿命化のための修繕であり、架け替えではありません。補修を市内の全橋で行っていく

計画です。
今後、交通の形態が変わって橋りょうの新設、架け替え、拡幅をしないといけない状態になったら計画することになると思います。

多目的広場は、野球や陸上をする人達のウォーミングアップの場であり、野球やサッカーのボールが体育館周辺の通路に飛び出して危険ということに延長194m・高さ5mの防球ネットを設置します。

を示すべきではないか。
答弁 基本的には始良市民のための施設なので、多目的利用施設の利用形態が危惧されるため、第2の広場整備と駐車場の整備も視野に入れて検討します。



▲多くの市民が楽しめる多目的広場

補正

暮らしやすいまちづくり

県内一暮らしやすいまち「始良市」をめざして身近な事業をピックアップしました。

総合運動公園多目的広場に防球ネット工事**1950**万円

公民館を自治会へ譲渡

150万円



▲市から池島町へ譲渡される公民館

始良地区の池島町・錦江団地・みさと台の公民館を自治会へ譲渡するため、50万円ずつの予算の範囲で要請か所を修繕して、土地・建物とも自治会へ譲渡します。

これは他の自治会との均衡を保つことや、普通財産の活用策の一環であり、対象自治会も地縁団体等の手続きを経て、順次譲渡していきます。

人権擁護委員に同意

任期は法務大臣が委嘱した日から3年です。

錦 京子氏（再任）



（蒲生町上久徳 74歳）

集中豪雨による災害復旧費

6億2804万円

9月に入り、大雨・洪水等の警報や土砂災害警戒情報が発令され、市内各地域で橋が流されるなどの災害ができました。

耕地災害復旧費

1億920万円

林道災害復旧費

474万円

土木災害復旧費

5億1410万円

の復旧作業の委託料および工事請負費です。



▲大雨で山腹崩壊した災害現場（平松地区）

条例

市立幼稚園

第3子以降

保育料全額免除



▲青空の下で元気よく（大楠ちびっこ園）

家庭の所得状況に応じ、保護者の経済的負担の軽減を図り、幼稚園教育を振興するための条例改正です。

国が定める、幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の補助対象者の金額が改

正されたため、保育料の減免対象者が拡大されます。

幼稚園に3人以上就園している世帯について、第3子以降の就園者の保育料が全額免除となります。

請 願

採択 3件
不採択 1件



▲校内に給食調理場のある建昌小

学校給食の自校方式の存続を求める請願

請願者 野村 昭也
紹介議員 里山 和子

採 択

請願の趣旨

教育をコストの対象とする、給食調理施設のセンター方式化の流れに危惧を感じる。

食事は、子どもの身体的発達と心情の育成にとって重要なことであり、家庭のぬくもりを直接届けてくれるのが、自校方

式の学校給食である。現在ある小・中学校の自校方式の学校給食を現行のまま維持存続し、更に充実を図ることを請願する。

(反対討論) 堂森議員

現在の自校方式の給食を継続したとしても、請願者の趣旨内容を実現する効果は期待できない。

(賛成討論) 里山議員

食事を校内で作る意義は大きい。給食調理員、栄養士の働く姿を見て、感謝の気持ちが芽生えてくる。

学校給食の新調理施設の運営および現行自校方式による給食調理場の存続と充実を求める請願

請願者 濱田 健一
紹介議員 本村 良治
神村 次郎

採 択

請願の趣旨

「学校給食あり方検討委員会」は、学校給食をすべて大規模給食センターに切り替えを決定する会議の場ではないかと憂慮する。

教育的意義、地場産業の推進の観点から、現在の自校方式の学校給食が提供されている小・中学校については、現行のまま自校方式で学校給食が実施されることを切に願う請願する。

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2014年度政府予算に係る意見書採択の要請

請願者 山下 秀和
紹介議員 本村 良治

採 択

請願の趣旨

2014年度政府予算編成において、次の事項が実現されるように、意見書の提出を要請する。

- ① 30人以下の少人数学級を推進すること。
- ② 複式学級の解消に適切な措置を講ずること。
- ③ 義務教育費国庫負担金制度の負担割合を2分の1に復元すること。

(賛成討論) 堂森議員

学力向上の原点は、義務教育時代の基礎をしっかりと学ぶ環境づくりが大切である。少人数クラスは、指導が行き届き学力向上につながる。

消費税増税の中止を求める請願

請願者 原田 俊明
紹介議員 堀 廣子

不 採 択

請願の趣旨

消費税の増税は、国民の暮らしと経営を破壊するだけでなく、日本経済も成長せず、財政危機も一層ひどくなる。

始良市にも、2800余りの事業所が営業し、非正規雇用者を含めると約3万2200人が働いており、増税による悪影響は避けられない。

(反対討論) 田口議員

医療、年金、介護等の社会保障を充実させるためには消費税増税は必要。

(賛成討論) 里山議員

社会保障は、消費税ではなく、負担能力に応じた累進課税での対応が憲法上の原則である。

(賛成討論) 森川議員

国民の6〜7割が反対であり、公平さを欠いた税率改正には反対。

陳情

採択

3件

「上名地区むらづくり活性化センター」の増築

採 択

陳情者 上名むらづくり委員会
委員長 玉利勝二ほか

陳情の趣旨

「上名地区むらづくり活性化センター」は、集落営農組織や農産物直販所「山田川」の拠点であり、選挙投票所、災害時の緊急避難所、各種講習会場に利用されている。しかしながら、JA出張所の再利用のため、手

狭な状況にあり、現施設を増築して頂きたい。
(賛成討論) 谷口議員
過疎高齢化が進む上名地区では、なくてはならない貴重な施設である。
(賛成討論) 堀議員
地域活動を推進していくには手狭であり、増築が必要である。

旅館・ホテル施設誘致促進に向けての対策委員会等の設置

採 択

陳情者 佐藤 一義

陳情の趣旨

旧サンピアあいらが閉鎖後、アイルアイラとして営業再開したが平成22年8月末に閉館の事態に至った。
市は平成25年に「旅館・ホテル施設誘致促進条例」を公布し、市内に一定規模以上の多目的ホー

ルおよび会議室を有する旅館・ホテルが進出した際に、助成措置等を講じることとしている。
この条例を起爆剤として、条例の目的を達成するために、早急に産・官(議会)・民を含めた対策委員会等の設置を陳情する。

拙速な川内原発1・2号機の再稼働を認めない決議を求める

採 択

陳情者 野呂 正和

陳情の趣旨

始良市は、ひとたび原発事故が発生した場合、風向きによっては、UPZ(原発から半径30km圏内の緊急防護措置区域)に入り、大きな被害を受けることになる。
県知事は、県民の安全確保上重要な課題が解決

するまでは、拙速な川内原発1・2号機の再稼働は認めない立場で、国および原子力規制委員会に対応することを求める。
特に、UPZ内の入院患者や福祉施設入所者を対象にした実効的な避難計画が、策定されていない状況での再稼働は、許

されるものではないことなどを明記し、県知事に意見書を提出していただきたい。
(反対討論) 川辺議員
原発が稼働しないデメリットが、ないがしろにされている。
(賛成討論) 神村議員
活断層、火山災害の原

発への影響が十分に検証されていない。



▲上名地区の活動拠点「むらづくり活性化センター」

市行政の取組みを検証

市議会は、平成23年度の決算審査で市が解決すべき課題を指摘しました。

今、始良市の中で何が起きているのか、市はそれらをどのように解決しようとしているのか、1年間にわたる市行政の取組みを検証しました。

今回はその中で身近な問題のいくつかを紹介します。



▲コンビニエンスストアでも税金の納付ができるようになりました

現状と問題点
景気の低迷が続く中、税収を取り巻く環境は厳しい状況です。
平成23年度の収入未済額は、6億2926万円。平成24年度は、5億6952万円となり、5974万円減少して、若干の改善が図られています。
市税・使用料など自主財源の確保は最重要であり、税金等の未納の縮減が大きな課題となっています。

今後の解決策
具体的な対策として、相続等による納税義務の継承、連帯納税義務、滞納処分等の執行停止、差し押え等、徹底強化します。
また、管理職・職員による臨戸徴収も実施します。
平成25年度からは、コンビニエンスストアの窓口で納付できるようにして、納税者の利便性の向上を図ります。

**税金等未納の減少に取り組み
収納対策を徹底強化**



▲地元業者による建設が始まった
松原なぎさ小学校新築工事

**地元業者の育成に配慮すること
市内業者を優先的に推薦・指名**

現状と問題点

始良市が発注する建設工事、業務委託および物品調達に関しては、市内業者を優先的に選定することを基本としています。
業務委託、物品調達においては、その取り扱う業者が少ない場合には、競争の原則から市内・外による指名競争入札および見積りによる場合もあります。

今後の解決策

今後も市内業者優先の

方針は変わりなく、建設

工事においては、入札参加資格の中から、市内業者を推薦・指名します。
また、平成25年から実施する、条件つき一般競争入札においても、地元業者が優先的に入札に参加できるよう配慮します。
業務委託、物品調達においても、市内で可能なものは市内業者を優先的に選定するように、各担当部署に業務の徹底を周知します。

各種検診の受診率向上を図れ

受診への周知と環境整備

現状と問題点

がん検診については、登録者で5年間1回も検査を受けていない人を調査しています。

また、未登録者には、登録調査を実施し、受診勧奨を行っています。

対象者は、子宮頸がん検診が20歳以上の女性、その他のがん検診は40歳以上の男女です。

職場や医療機関で検診を受ける人を除いた、検

診対象者の総数が把握されていない状況です。

今後の解決策

市報・ホームページにがん検診の案内や日程等

を掲載して、周知や勧奨を行います。

また勤めている方が受診しやすいように、女性

検診においては、託児ができる日を設けるなど、環境整備に努めます。



▲ 始良保健センターでのがん検診風景

鳥獣被害防止対策に努めよ

地域ぐるみの対策を強化

現状と問題点

平成23年9月に始良市鳥獣被害防止対策協議会を設立し、地域ぐるみで防止対策を推進しています。

ビデオ研修や、集落環境点検の実施、追い払い・防護・自衛捕獲の講習を行い、箱わな・電気柵も貸与を行いました。被害はさらに拡大しています。

今後の解決策

地域ぐるみで、大規模なやぶ払いや、広域的な電気柵の設置を行い、被

害防止・軽減を図ります。25年度には、新たな超音波による対策も実証的に行い、国の緊急捕獲等対策事業を活用し、市捕獲隊と連携して、被害の減少に取り組めます。



▲ 電気柵と箱わな設置で対策を強化

24年度決算指摘事項

一般会計

- 税負担、受益者負担、使用者負担等の公平性確保や、財政の効率的な運用を図るためにも各部局で連携し、全庁を挙げて収入未済額の減少に取り組むこと。
- 職員健康診断の受診・再検査を徹底させるとともに、メンタルヘルスについて十分な対応をとること。
- 始良地区医師会との協議を進め、夜間の初期救急医療体制の確立を図ること。
- 資源ごみの分別化を徹底し、ごみの減量化に努めること。
- 農産加工センターの利用料金の統一を図り、利用者の利便性向上に努めること。
- 地区公民館、校区公民館、自治公民館の組織構成、補助金等にばらつきがある。公民館活動推進事業の統一化に努めること。
- 住宅使用料については、連帯保証人への納付催告を徹底すること。

特別会計

【国民健康保険事業】

- 医療費抑制のため、各種保健事業の充実を図ること。
- 国保税の徴収率は、対前年度比で1.5ポイント上昇しており、努力は認められるが、税の公正・公平の面から更なる徴収率向上を図ること。

【介護保険事業】

- 特別養護老人ホームへの待機者解消に努めること。

【農業集落排水事業】

- 農業集落排水施設の使用料未納者対策に努めること。

【地域下水処理事業】

- 処理施設の整備計画を作成すること。

【水道事業】

- 水道情報管理システムは、市全体の業務に利用できるシステムとして構築していくこと。
- 老朽管の布設替えに努め、漏水対策に取り組むこと。

管理及び処分と活用

公有財産

市長／来年度以降公共施設
白書作成の中で



和田里志議員

和田 財産を適切に管理・有効活用するには、その情報を全庁的な取組みの中で集約・共有化し、各種計画との整合・連携を図る必要があると考えるがどうか。
市長 多くの財産があるが、来年度以降計画している公共施設白書作成の



▲何年も放置されたままの土地活用はかれ

中で、評価を行っていない。

和田 自主財源確保の観点から、活用されていない普通財産2862町歩東京ドーム(加治木運動場とほぼ同じ)612個分を処分したら、単純に試算しても25億円以上あるいはその倍くらいになり、松原なぎさ小学校等が借金・補助金なしで建設できる。

これからの活用や処分について、一元的に考える制度・体制をつくるべきと思うがどうか。
市長 資産の有効活用に

ついて基本的な方針を定めて、貴重な財産を今後にも、新たな第三者機関を設置し、積極的に進めていきたい。

問う 一般質問

地域医療

医療機関相互の連携

市長／夜間初期救急診療所を協議



湯川逸郎議員

湯川 一次医療から三次医療を担当する医療機関相互や、疾病ごとの連携が重要と思う。これまでの取り組み、今後の取り組みを問う。

市長 病床の整備を図るため、地域における救急医療の充実・強化に向け地域緊急医療対策協議会で、一次・二次救急医療機関の連携体制などを協議されている。
本市においても「始良市夜間初期救急診療所」の開設に向け、始良地区医師会と協議を進めている。

健康生きがいづくり事業

市長／保健師による訪問指導

湯川 医療費の抑制につながるモデル的な事業で健康生きがいづくりが、どのような事業に反映されたか。事業の検証結果について問う。

市長 昨年度は、生活習慣病の予防や身体活動に対する意識付けと習慣化を目指し、ゆつくり水中運動教室など8教室を開催し、延べ972人の参加であった。

今年度は、糖尿病などを予防するため保健師による訪問指導に取り組む。

その他の質問

○小学校区割の見直し



▲皆さん健康を願って (ゆつくり水中運動教室)

資源物等の収集

可燃物ごみステーションで

市長／現在考えていない



田口幸一議員

田口 資源物、危険物等の収集を可燃ごみステーションでできないか。

市長 現在は分別指導員により保っている分別の制度が維持できないと予想される。また、月1回の地域での収集は地域コミュニティの場でもあることから、現在考えていない。

今後、高齢者や障がい者などのごみ出し困難者が増えてくるものと予想されるので、シルバー人



▲ごみステーションで資源物危険物等の収集を

市政を

23人が

材センターなどとタイアップした対応ができないか研究中である。資源物や危険物収集については、自治会で設置している集荷所のほかに、多様化するライフスタイルの変化に感じられるよう、始良地区の松原集荷所と重富集荷所を、昨年度から新たに設置した。

その他の質問

- 防災無線のあり方
- 6次産業化
- 思川の雑草除去と寄洲の除去

高齢者の負担なくせ

市長／事業をバックアップ

資源物の出し方



森 弘道議員

森 資源物の搬出が困難な高齢者家庭の負担を、社会福祉協議会の「地域生活応援事業」で行政がバックアップして負担を軽くする事はできないか。市長 この事業は、昨年4月から開始した事業で有効な取り組みと考える。特に資源物や危険物など高齢者や障がい者など搬出困難が増えると思われ、バックアップしたい。

また、有償ボランティアでの対応を現在研究している。

森 帖佐保育所周辺の道路は側溝蓋がなく、朝夕の送迎車が多く、いつも危険を感じている。また、正面突き当たりから左折する角も見通しが悪い。整備について所見を問う。

市長 要望か所は保育所の周辺道路や花園寺跡の整備計画があるので、今後補助事業の活用を図りながら整備する。

また、角地の隅切り改良は花園寺跡整備と併せて検討する。



▲高齢者の負担軽減図れ

給食室

老朽化した給食室の整備計画

教育長／在り方検討委員会の報告書を踏まえて



本村良治議員

本村 旧始良町内の老朽化した給食室の整備計画は今後どのように進めるか。

教育長 本市の学校給食について基本的な方向性を検討するために設置した始良市学校給食在り方検討委員会からの報告書が、今年度末に提出される。その報告書を踏まえて新たに整備計画を作成する。



▲老朽化した自校方式給食室の整備を

錦江幼稚園のプール使用

教育長／小学校の授業に支障のない範囲で

本村 現在の錦江幼稚園のプール使用によって小学校の授業に影響はないのか、経過を含めて説明せよ。

教育長 錦江小の授業に支障のない範囲で、錦江幼稚園は毎年6月から7

月にかけて7日間程、教育課程に基づいて、小学校のプールを利用して、水に親しみ、水の感触を楽しむ活動が主な学習内容である。園児の健康増進に寄与するようにプールの効率利用の促進に努める。

内陸部にミニ工業団地の開発

企業誘致

市長／土地開発公社等と連携を深めていく



堂森忠夫議員

堂森 企業誘致は土地が必要だ。企業が持つ騒音等を考慮すると、住宅地から離れた内陸部に、開発業者と連携してミニ工業団地開発を手掛けると、地元雇用が増大する。開発が必要と察するがどうか。

市長 企業の特質を考慮

し、周辺環境に即した場所も重要だ。その条件を備えた用地の事前確保も大切である。

都市計画用途地域との整合や土地利用のあり方等を含め、地域産業経済の均衡ある発展に繋がられるよう、土地開発公社等との連携を深めていく。

冷暖房の効かないスクールバス

教育長／検討を重ねている

堂森 冷暖房の効かないスクールバスがあると聞

く。各団体と連携し見直し計画を図れ。

教育長 加治木地区内のスクールバスは5台のうち冷暖房の効くバスは1台である。

観光バス運営会社等へ、委託する方法等の検討を重ねている。

その他の質問

- 工事入札
- 団地等の排水
- 学校新築の現場管理



▲土捨て場の開発を工業団地へ活かす

西始良校区

保育所と市営住宅の設置

市長／支援について今後十分検討する



萩原哲郎議員

萩原 西始良校区に保育所や幼稚園・住居としての市営住宅等の建設が要望されるが、どのように考えているか。

市長 保育所や幼稚園、地域性や待機児童の状況を見極めながら、支援については、十分検討する。新規市営住宅の整備計

画は、「始良市公営住宅等長寿命化計画」の中で、各整備状況を把握し、地域の活性化を促進する市営住宅の整備を図っていく。

建昌城跡地の整備計画

教育長／園内の遊歩道を整備

萩原 建昌城跡地は、桜島が見え素晴らしい景観を持つ場所である。

今までにどのような調査研究、整備がされたか。今後の用途と整備計画を示せ。



▲市営住宅や保育所などの設置により児童数減少に歯止めを

教育長 整備事業として、

進入路、管理棟、トイレ設置工事、進入路脇の駐車場の整備を行った。

今後、建昌城跡地に散策・景観を楽しまれる方のために園内歩道、外回りの遊歩道整備を行う。

将来、国指定史跡化を目指し、史跡整備を検討する。

その他の質問
○桜島爆発の灰処理対策

加治木駅前

大通線整備計画を示せ

市長／速やかに完成できるように進める



東馬場 弘議員

東馬場 加治木駅前大通線の道路改良について、今後の整備計画を問う。

市長 本年度は全路線の測量設計を行い、平成26年度から社会資本整備総合交付金事業を活用しながら、速やかに完成できるように事業を進めていく。

行政改革の方向性

市長／市民の利便性向上

東馬場 本庁舎、総合支所機能の充実、方向性を問う。



▲雄大な桜島が眺望できる景観の市道

市長 本庁舎および総合支所庁舎は、改修および増築を行い旧町の役場の庁舎を使用しているが、老朽化が進んでいることから、庁舎整備を急がなければならぬと考えている。

(仮称)庁舎建設検討委員会を立ち上げ、市民の意見を聞きながら、すべての庁舎整備に向けた検討を行い、市民の利便性および事務効率の向上に努める。

特定検診

受診率の向上

市長／巡回訪問で受診勧奨



河東律子議員

河東 特定検診は、生活習慣病の早期発見、また保健指導で重症化を防ぐ。受診率向上の手だてをどうとっているか。
市長 受診率向上については、平成24年度から2か年連続未受診の方に対して、保健師が巡回訪問による受診勧奨を行って



▲自分の健康は自分で守ろう

いる。
受診率は、平成22年度37・0%、23年度44・4%、24年度の見込みが46・1%になっている。

空き家対策、特徴と課題

市長／居住可能37戸
修理667戸

河東 空き家対策調査が終了した。
始良市の空き家の特徴と課題を示せ。
市長 明らかに居住可能なものが37戸、少し修理

が必要なのが667戸あった。
全空き家1778戸のうち、所有者の確認ができないものが75%あり、支障があると考えられる。各関係機関との連携を図り、所有者確認の情報収集に努める。

教育環境

教育現場は安全か

教育長／点検を強める



森川和美議員

森川 小・中学生の通学路は安全か。
また、教育現場の校舎

体育館等施設の窓ガラス、天井、照明器具など非構造部材の耐震対策は十分か。

教育長 通学路やスクー
ルゾーンについては、教職員、保護者による安全点検を実施している。

校舎、体育館の建物、構造体については、平成23年度耐震化は終了した。天井材、外壁や照明器具、窓ガラス等は、今後「点検チェックリスト」により実施する。



▲安全な通学路になりました

夜間救急医療センター設置急げ

市長／対策検討会設置した

森川 深夜、休日に関わらず安心して診療が受けられる医療制度実施の公約がある。特に小児の夜間および休日の診療状況

はどうなっているか。
市長 現在、本市の夜間救急患者を診療する体制が整っていない。
行政と医師会で協議を行うために、市内医療機関代表者10人の医師による「始良市夜間初期救急医療対策検討会」を設置し協議を進めている。
現在は、霧島市立医師会医療センターと、鹿児島市夜間急病センターで診療している。

環境モデル都市

選定を目指せ

市長／環境基本計画の策定と実現が肝要



出水昭彦議員

出水 始良市は、平成24年3月に環境負荷の少ないまちづくりを推進していくため、環境基本条例を制定した。その理念は、内閣官房地域活性化統合事務局が選定する、環境モデル都市（低炭素社会実現へ取り組むモデル都



▲国立公園に指定された重富海岸

市)を目指す考えはないか。

市長 本市は、環境美化条例と環境基本条例を制定し環境の保全に努めてきた。

また、平成24年には霧島錦江湾国立公園として指定された。

現在環境基本計画を本年度末までに策定するため審議会を4回開催した。本市が策定中の環境基本計画は、環境モデル都市の目指すものと合致している。

現在、環境モデル都市選定を国が募集中であるが、今取り組んでいる環境基本計画を策定し、その実現に向けて努力していくことが現時点では肝要と考える。

その他の質問

○障がい者生活支援センター
○暫定例規の取扱い

整備促進

市長／整備検討中

幹線街路



吉村賢一議員

吉村 岩原交差点から南の加音ホール横運動場への都市計画道路決定と主要街路の整備はできないか。

市長 岩原地区は須崎公共用地に企業が進出し、交通環境が変化しており、地区環境の向上を図るため最適な路線を選定する調査を実施している。



▲岩原交差点から加音ホールにつながる道路新設を

上水流線は土地区画整理事業で整備予定であったが、今後は検討見直しを行う。

森山線は、今年度測量設計を行い計画的な整備をする。

重富海岸周辺の整備

市長／調査検討

吉村 国道と繋ぐ往復道路の整備と堤防散歩道路の点検整備はできないか。
市長 アクセス道路は始良駅西から入るルートと、

山野踏切からの2つのルートである。

踏切改良は、JRと協議を行い、調査検討し案内標識も含め整備する。堤防ゴムチップ舗装は、県の魅力ある観光地づくり事業で実施した。点検整備は本市で行う。

その他の質問

○加治木IC以東国道バypassの延伸
○小学校の学区制

国民健康保険

予防医療の認識は

市長／重要な課題



川辺信一議員

川辺 資産割を除外して3方式はできないか。
市長 所得割の税率を上げる事になり、3方式を実施するには影響が大きいと考えている。
川辺 保険財政の改善の施策はないか。

川辺 国民健康保険の被保険者数と国民健康保険の平均保険料金はいくらか。
市長 平成24年度の平均被保険者は1万8829人である。一人当たりの現年度分の平均国民健康保険税の調定額は、8万4442円となっている。
川辺 予防医療の認識について問う。
市長 生活習慣病の予防の観点から、予防医療については大変重要な課題と認識している。



▲国民健康保険業務にはげむ本庁職員

市長 将来的には、医療と保険制度の一本化が必要と考えている。
川辺 共済組合への被用者保険の市の年間負担額はいくらか。
市長 平成24年度の執行額で2億260万円である。

相互理解を深める広報

市長／連携強化で戦略的広報を展開

広報活動



小山田邦弘議員

小山田 行政サービスが統一されようとする今、市民に受容されるためには相互理解を深める広報が必要である。
今後、どのような広報活動が必要と考えているか。
市長 市民に様々な情報や課題等を分かりやすく



▲掲示物も広報 税金は払うもの？納めるもの？

示し、積極的に提供すること、市民の関心を喚起し、問題意識を共有、市政へ参加意識を醸成できると考えている。
小山田 そのためには部署ごとにバラバラに発信するのでなく、市としての意志のもと、統合された情報発信が必要だ。
広報を統括する部署や広報のルールやガイドラインは存在するのか。
市長 広報は秘書広報課

で統括しているが、ガイドラインは作成していない。
市としての一体的な広報が戦略的に行われるよう各部各課の連携を強化していく。

くすの湯

今後の方策

市長／十分検討する



上村 親議員

上村 くすの湯は、平成6年に供用開始して20年を迎え厳しい経営状況が続いている。

この施設の目的と地域コミュニティの場として考えを示せ。

市長 くすの湯は、市民の健康増進と福祉の向上を図るためのものである。



▲地域住民の憩いの場 くすの湯

地域住民の憩いの場として親しまれており、災害時の避難場所としても指定している。

上村 施設の方策について、くすの湯検討委員会で議論しているが、今後の計画を示せ。

現在まで、湧出量、温度の減少と低下に伴い、別な位置での温泉源の地質調査をしたことがあるか。

市長 委員会を定期的に開催し方向性を十分に検討する必要がある、来年

度も開催する計画である。

これまで、蒲生町時代庁舎内では、くすの湯検討部会で活用策を検討してきたが、温泉源の探査はしていない。

その他の質問

○重富中学校の防風林対策

県総合体育館

誘致の検討

市長／既に要望書を提出



湯之原一郎議員

湯之原 伊藤知事は、鹿児島本港区ドルフィンポイント跡地に整備を予定する、総合体育館計画を再検討する方針を明らかにした。

地理的条件や交通網を考慮すると、始良市への誘致は、県民にとっても利便性が高いと考える。

県総合体育館の誘致を検討する考えはないか。

市長 県総合体育館については、従前から県当局とも書類の提出について協議しており、9月3日付けで県知事に対して誘致の要望書を提出した。

パイプラインの整備率と方針

市長／地域からの事業導入要望に応じ、県と協議し取り組む

湯之原 農業従事者の減少、稲作の低コスト化、水田の汎用化等を考慮すると、農業用水路のパイプライン整備を進めるべきである。現在の整備率と整備方針を問う。



▲水田の汎用化に有効なパイプライン

市長 パイプラインは、市全体の圃場整備済み圃場の17・7％に整備されている。

未整備地域では、地域からの事業導入要望に応じ、県と協議しながら取り組む。

その他の質問

○太陽光発電事業
○中迫配水池の入札

安全な通学路の確保

後田橋周辺通学路の整備

市長／県と安全対策を協議



湯元秀誠議員

湯元 伊集院・蒲生・溝辺線の後田橋ルートを通学路の現状の認識は、通学・交通量の実際と今後の管理はどがするか。安全な通学路確保の歩道などの整備計画を示せ。教育長 蒲生校区の児童生徒の15%が利用し、朝



▲早急な安全対策が望まれる通学路

夕の車も多く保護者、地域からの改善要望も認識している。

昨年点検し、見守り隊の配置、路面標示などの整備を行い安全確保に努めている。

市長 バイパス完成後、市道として管理し県と交通安全対策を協議する。

漆での診療所開設
市長／地域要望等を勘案し判断

湯元 北山診療所は始良市の特別会計で運営され、その充実が問われる。

漆地区での調査では出張診療所設置の要望が多くあった。地元医師会の理解も必要と思うが開設の可能性を問う。
市長 漆は比較的近い位置であり、どの程度の方々の診療があるか、民間医療機関の理解と地域医療のあり方を含め研究・検討する。

その他の質問
○市職員の資質向上を図る研修

検討委員会のメンバーの方にも、説明会に参加してもらっている。検討委員会には学校の代表も入っており、委員の数が少ないことはない。



▲広大な敷地の「給食室別棟」建設地

学校給食

公聴会を開け

教育長／保護者への説明会も開いている



神村次郎議員

神村 始良地区学校給食について現在、在り方検討委員会が検討されているが、センター方式となると大きな政策転換である。公聴会を開き、多くの保護者や市民から意見を聞くべきではないか。

教育長 9か所の自校方式を行っている学校の保護者が集まる機会を利用して、現状を説明し意見を聞いている。

新エネルギー 太陽熱温水器設置補助
市長／考えていない

神村 家庭における新エネルギーの利用促進、地球温暖化問題に貢献するために住宅に太陽熱システム（太陽熱温水器）を導入する市民へ補助はで

きないか。
市長 太陽熱温水器については県内で補助している市町はない。導入費用が太陽光発電に比べ安価であることから補助金交付は考えていない。
その他の質問
○放課後児童クラブ
○彫刻のあるまちづくり

命を守るホイッスル

市長／普及促進に向け啓発



竹下日出志議員

竹下 災害時の生存確認や、ひったくり、痴漢な

どの犯罪被害防止、高齢者が身に危険を感じたときなどに、周囲に身の危険を知らせる「命を守るホイッスル」を、市民に配布する考えはないか。市長 ホイッスルの利用は、災害発生時の安否確認や、ひったくりなどの街頭犯罪対策として、ひとつの方策と考える。



▲周囲に身の危険を知らせるホイッスル

市の防犯教室などを利用して、参加者へ配布を行い、普及促進に向けた啓発を進める。

市民サービスセンターの開設

市長／前向きに検討

竹下 霧島市では、市民サービスセンターを開設し、年末年始を除く毎日10時から19時まで住民票の写しなど各種証明の発行、市税や保育料等の収納業務を行っている。本市でも「始良市民サービスセンター」を開設する考えはないか。

市長 現在の庁舎でもソフト面の改善により、実施可能な業務などもあることから、前向きに検討していく。

その他の質問

○障がい者が暮らしやすい環境づくり

○特別支援教育の充実を求めて

どうする記念事業

市長／市民歌・音頭の発表・披露

市政5周年



法元隆男議員

法元 市政5周年に向けてどのような記念行事を考えているか。

市長 市政5周年記念式典を開催し、その中で市民歌および音頭を発表・披露する計画で現在作成準備を進めている。そのほかの記念行事や5周年記念誌など今後検討する。



▲隈姫神社の入り口にある池田助右衛門の碑

池田助右衛門碑の説明板

教育長／関係部と協議し対応

法元 池田助右衛門の碑文は読めない状態であり、何の碑かもわからない。説明板をつけるべきであるがどうか。

教育長 「町歩き」や「史跡ガイド」のコースに入るような文化財については、関係部と協議して対応していく。

法元 金山橋のビューポイントが大雨により破損している。早急に整備せ

よ。市長 応急的な処置では同様な状況を繰り返すため、技術的な強度等を含め、流れに影響を与えないような修復方法を十分検討する。

その他の質問

○加治木港を含む港町周辺の活性化

○精矛神社および隈姫神社のトイレ整備

たまな認知症応援団 4 期生



▲玉名市の認知症に対する応援団の皆さん

- 小中学校の給食問題
- 小中学校普通教室にクーラーの設置

その他の質問

崩壊対策事業、砂防事業地すべり対策事業、治山事業および海岸保全施設整備事業などを行っている。

生命や財産を守るため、始良・伊佐地域振興局と連携しながら、急傾斜地崩壊対策事業、砂防事業地すべり対策事業、治山事業および海岸保全施設整備事業などを行っている。

里山 始良市地域防災計画が発表され、豪雨や台風等のため浸水する地域が指定されている。防災対策は進んでいるのか。

防災対策

市長／計画を立て実施中

同様に、認知症サポート養成講座、認知症高齢者徘徊 SOS ネットワーク事業、家族介護者交流事業などを実施し、認知症になっても住み慣れた地域で、安心して暮らせる取り組みを実施している。

高齢者福祉

認知症対策を進めよ

市長／支援策に取り組んでいる



里山和子議員

里山 熊本県玉名市では認知症支援事業に力を入れて取り組んでいる。始良市でも玉名市の支援事業を取り入れる考えはないか。

市長 本市でも玉名市と

浄化槽

水質検査料に補助

市長／考えていない



堀 廣子議員

堀 浄化槽設置者は、保守点検、清掃、二つの法定検査を受けている。市民から「維持管理料金が1回の清掃をしているのになぜ法定検査を受けないといけないか、6000円の法定検査料は高すぎる」などの声がある。

全国では維持管理費用に補助を出しているところもある。始良市でも検討できないか。

市長 浄化槽設置費用に補助しているので、補助は考えていない。

児童クラブの基準づくり

市長／子ども子育て会議を設置

堀 児童クラブ基準を市町村で定めることになったが、児童クラブへの予算措置はどうなるか。

市長 地域子ども・子育て支援事業計画のなかに



▲月1回の保守点検実施中

児童クラブも組み入れ実施していく。

堀 児童クラブ当事者の声をどのように反映するのか。

市長 児童クラブに携わる方を子ども・子育て会議の委員とし意見を汲み上げていく。

その他の質問

○子ども、ひとり親家庭、重度心身障害者医療費助成の完全無料化

先進地に 学ぶ

委員会 レポート

市営住宅の建替え状況
武雄市には、市営住宅
18か所877戸が建設さ
れています。
築後40年以上経過した
住宅の建替えは、24年度
に1号棟が完成し、現在
2号棟を建設中です。

この住宅は、1人また
は2人の高齢者が多数入
居され、1階の中心部に
ホールを設置し、高齢者
と若年者の交流を目指し
た間取り配置などユニー
クな配慮がなされていま
す。

調査結果を始良市に反映
調査結果は、始良市政
に反映させました。
平成26年3月からは、
裁判所へ強制執行が市長
の権限で行えます。
呼び出し状発送から6
か月以上応じない場合は、



▲高齢者と若年者が交流できる
ホールのある市営住宅

市営住宅の立替え促進と 家賃納付率の向上対策

佐賀県武雄市

建設水道

平成25年7月17日に佐
賀県武雄市を調査しまし
た。

1・2号棟とも5階建
で、エレベーターが設置
され、総事業費は約11億
6千万円です。

家賃納付率の向上対策を 構築

収納対策は、平成23年
度までは始良市と同様な
取り組みでしたが、市長
の権限で裁判所へ告訴で
きるよう、徴収率向上対
策を構築しました。

裁判所に明け渡し訴訟を
行い、裁判所の書記官と
未納者と行政の3者が協

議する中で、即決和解の
手続きが可能になります。

高齢者福祉

声かけ等の処置

市長／各種事業に取り組んでいる



谷口義文議員

谷口 老人の心身の健康
保持および生活の安定の
ために、高齢者世帯の生
活実態を把握し、声かけ
や手を差し延べ支えるべ
き処置をどう講ずるか。
市長 本市の高齢者への
状況確認、声かけ、見守
り等の支援については、

道路改良

市長／協議検討

谷口 こうか跡地の団地
内市道より、菅原線北側
寄りの交差点が開通する
と、今以上に便利になり

その他の質問

○宿泊施設

帖佐駅前通りが緩和され
ると考えるがどうか。
市長 こうか跡地団地内
の市道(南加祢ヶ原線)か
ら菅原線北側寄りの交差
点部は、農道並木口線と
の合流点となつていますが、
事業用地・交差点協議等
があるので、十分協議検
討したい。



▲交差点協議

第4回 クイズ

ここはどこ？



どの地区にある？

加治木？ 始良？ 蒲生？

クイズを当てて 図書券をゲット

応募方法

○官製はがきかメール
答え、住所、氏名、年
齢、電話番号を書いて、
議会事務局にお送りくだ
さい。

余白に「あいら市議会
だより」へのご意見、ご
要望等大歓迎

○締め切り 12月25日
当日消印有効

あて先

〒899-5492
始良市宮島町25番地
始良市議会事務局
メールアドレス
gchosa@city.aira.lg.jp

※正解者の中から、5人
の方に図書券を進呈
の用に図書券を進呈

編集後記

師走となりました。皆
さまのこの一年の暮らし
向きはどうでしたか。
大きくなった始良市の
3年半は順風の中で経過
してきているように思い
ます。

さらに来年以降も、小
学校、消防署、火葬場の
建設、そして東京オリ
ピックの頃にはインタ
チェンジと、大きな事業
が目白押しです。

市長は「県内一くらし
やすいまちづくり」を目
指しています。

本当のくらしやすさとは
何なのか。住んで良か
ったと実感していただ
けるまちづくりとは。

行政も、議会も皆さま
と一緒に考えてみて
たいものです。(安田)

編集・発行責任者

議長 玉利 道満

広報等調査特別委員会

委員長 河東 律子

副委員長 竹下日出志

委員 有馬 研一

委員 小山田邦弘

委員 笹井 義一

委員 安田 久

委員 湯元 秀誠

第3回 議会と語る会 を開きます

土・日に開催

今年5月に議会報告会を「議会と語る会」に名称を変更し開催しました。今回は、土・日の午前・午後を開きます。平成24年の決算について、また、補正予算や請願・陳情など、9月定例会で議決・審査したことの説明をいたします。その後、皆さまの質問やご意見を伺います。多数のご参加をお待ちしています。

開催場所		日時
加治木	永原小校区 公民館	12月7日(土) 午前10時～11時30分
蒲生	川東地区 いきいき交流センター	12月8日(日) 午前10時～11時30分
始良	中津野自治館 公民館	12月8日(日) 午後3時～4時30分

※あいら市議会だよりNo.14をご持参ください。

傍聴席どうぞ

車いす席もあります

12月定例会は11月25日
から開かれています。